

2020-2021年度



ロータリーは機会の扉を開く

第2570地区

行田さくらロータリークラブ週報

国際ロータリー第2570地区ガバナーテーマ

「Let's make fellows!」「友達をつくろう」

ガバナー 相原 茂吉

会長方針

ロータリーを面白くしよう、
そして楽しもう。

会長 長谷川 博

会幹編

長事集

長谷川

木瀬

岡田

敬一

博

司

浩

敏

宏

事務局

電話

例会日

例会場

電話

URL

印刷

埼玉県行田市行田5-10
スリーハートビル3F

048 (564) 3000番

火曜日12:30～13:30

ホテルガーデンパレス

熊谷市佐谷田3248番地

048 (525) 7777番

URL <http://www.gyoda-sakura.jp>

印刷：マツオカ印刷株式会社

第2209回（11月24日）例会報告

会場：ものづくり大学 大学本部2F 大会議室

- 点 鐘 長谷川博 会長
- 4つのテスト
- 会長報告 長谷川博 会長
- 幹事報告 鈴木敬一郎 幹事
- ものづくり大学さくら奨学金奨学生証授与式
 - ・趣旨説明 奉仕プログラム委員会
橋本恭一委員長
 - ・授与式 ものづくり大学 赤松明学長
行田さくらロータリークラブ
長谷川 博会長
(学長より、学生に授与)

- 奨学生卓話（学生6名）
 - 1)ものづくり大学技能工芸学部
製造学科4年 田島 悟
 - 2) 製造学科4年 ZHOU JIANWEN(シュウ ケンボン)
 - 3) 総合機械学科3年 村山 諄
 - 4) 総合機械学科3年 中西 美颯
 - 5) 建設学科4年 中村 亮太
 - 6) 建設学科3年 YOON GITAEK(ユン ギテク)
- 謝 辞 ものづくり大学 赤松明学長
- 点 鐘 長谷川博 会長

点 鐘



長谷川博 会長

会長報告



長谷川博 会長

皆さんこんにちは。本日はものづくり大学さくら奨学金授与式例会にご出席ありがとうございます。

また、赤松学長及び奨学生の皆様本日は何かとご多忙のところ授与式にご出席ありがとうございます。

コロナ禍の中、色々皆様は勉学に支障があることもありますが、そう遠くない時期に収束するはずで、コロナ後はご承知のように今とは違う世の中になる可能性があります。新しい今と違う世の中には、学

生の皆様の新しい技術、発想力が貴重になると思います。ささやかではございますが、さくら奨学金をご活用いただき、世界における日本の存在を高めていただければそれに越したことはございません。よろしくお願いします。ありがとうございました。

幹事報告



鈴木敬一郎 幹事

幹事報告をさせていただきます。

国際ロータリー第 2570 地区より 本庄南ロータリークラブのクラブ名称変更とクラブ会員対象地域の変更について連絡がありました。名称は本庄南ロータリークラブから 2570 パスポートクラブに変更、地域は本庄地区およびその周辺から全世界へ変更されたことが 11 月 4 日付けで国際ロータリーにより承認された旨の連絡がありました。

12 月 1 日（火）第 2210 回例会は、年次総会です。出欠のご連絡をお願いします。万一ご都合のつかない場合は、委任状の提出をお願いします。

新型コロナウイルスが拡大の現状を考え、SAA の案内にしたがって感染症予防対策にご協力いただきますようお願いいたします。以上です。

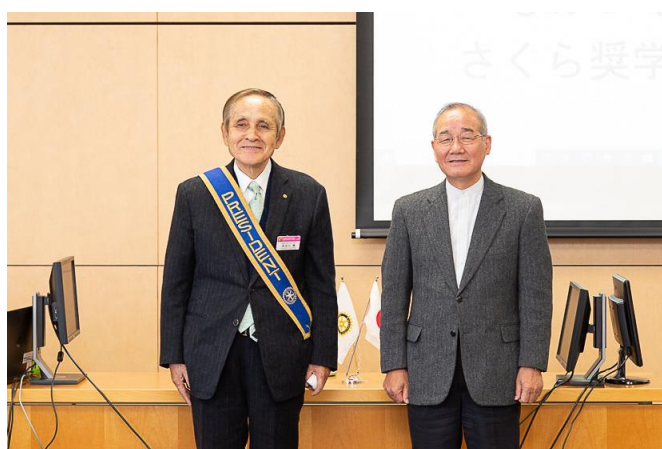
ものづくり大学さくら奨学金奨学生証授与式

趣旨説明



奉仕プログラム委員会 橋本恭一委員長

授与式



ものづくり大学 赤松明学長

行田さくらロータリークラブ 長谷川博会長



奨学生卓話

1)ものづくり大学技能工芸学部

製造学科 4 年 田島 悟



私は「技術者・ヒトとして成長する」という事を目標に2つの事柄に力を注いできました。

1つ目は「技術の習得」です。私は入学の理由に「工学の基礎・応用を学び、見聞を広める」がありました。入学後は1つの技術に特化せずに様々な技術を身に付けました。

2つ目は「主体性の向上」です。主体性とは自ら学び、考え、行動し、責任を取る事です。私は主体性が最も社会人に必要な事だと考え、主にプロジェクト内で向上させました。

2つを意識した結果、(株)日立製作所から内定を頂きました。私は大学生活において目標を達成しつつあると考えます。しかし、それは大学内の事で社会へ出てからは更に成長する事が必要不可欠になります。私は学んだ事を糧に社会へ貢献できるよう、成長し続けたいと思います。

そこで、私は残りの大学生活をより成長できる場にするため、個人研究費・論文入手のための会員費や生活費に奨学金を使用したいと考えております。

2) 製造学科 4 年 ZHOU JIANWEN(シュウ ケンブン)



この度は、さくら奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。私はものづくり大学製造学科4年生周建文と申します。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、生活はかなり大変でした。母親のバイト先の店は営業の不景気により、倒産しました。また、私もアルバイトを3月から始めましたが、休業となりました。家族の収入が減少するため、今後、家族が一人暮らしの私に仕送りできる金額が限界でした。

しかし、この奨学金制度のおかげで学費の一部として、支払うことができていました。本当にありがとうございました。

私は、機械加工の興味を持って入学して、特に汎用旋盤についてたくさん練習しました。技能検定汎用旋盤で、3級に合格しました。

また、卒業研究では、後輩たちを助けたいと思い、中国語の機械加工テキストを研究テーマにしました。

就職先については、株式会社三友製作所より内定をいただいております

将来、社会人になったときに、初心を忘れずに、何事にも前向きな気持ちで取り組んでいきたいと思っています。

3) 総合機械学科 3 年 村山 諄



総合機械学科3年の村山諄です。私はETロボコンという学生プロジェクトに所属していて、今年で3年目になりました。

1年生の頃は、今まで経験したことのなかったロボットの制御やプログラミングを様々な方法で学びました。毎日の学びを継続することで、ある程度の知識をつけることができ、既存の物を利用できるようになりました。

2年生の頃は、1年の反省から知識をインプットする

だけでなくアウトプットすることを意識し、課題発見、解決を繰り返した。これらのアウトプットから自分の弱点を知り、効率の良い学習をすることができた。

3年生の頃は、今までの知識・技術をより掘り下げた上に、ETロボコンの枠をこえ、より普遍的で実社会に活かせる知識の学習を行った。その際に、参考書や専門書を購入したが、その購入代金にさくら奨学金を充てさせていただいた。

今後も知を探究し続け、社会に貢献できるように生活していきたい。

4) 総合機械学科3年 中西 美颯



この度は、さくら奨学金奨学生に採用していただき、誠にありがとうございます。奨学生に採用されたことで、学習に対する意識も高まり、何事にも前向きな気持ちで取り組んでいます。様々な仕事がITに置き換わる現代社会で生き残るために、必要なものは“人間性”であると考えています。この“人間性”を高めるためには、日本という範囲に留まることなく、世界に目を向け広い視野で物事を捉える必要があります。そこで、異国の地に足を踏み入れ世界の技術を肌で感じ学ぶことで見識を広めたいと考えています。

現在はこのようなご時世で、あるため実際に行動することは出来ませんが、今回ご支援いただきました奨学金をこの「人間性」を高めるための費用に充てる予定です。立派な社会人として自立できるよう今後も一層の努力をし、日本のみならず世界で活躍する人材になりたいと考えています。

ご支援いただいている全ての方に重ねてお礼を申し上げます。

5) 建設学科4年 中村 亮太



「大学で最も力を注いだことと、これからの学生での目標」

私が現在までの学生生活の中で特に力を注いでいることは英語の学習です。英語の能力を向上するために、大学で様々なことを行ってきました。

1つ目は、長期海外インターンシップへの参加です。

2つ目は半年間の語学留学です。

3つ目は大学で行ってきた英語学習の成果を資格として形に残すということです。今後は継続的に英会話を中心とした英語学習を行っていきます。以上のことが、私が現在まで取り組んできた英語学習です。

私は今年度にもものづくり大学を卒業し、来年度からはものづくり大学大学院に進学する予定です。今回さくらロータリー様に頂いた奨学金は大学院の学費に充てるつもりです。私が大学院に進学する目的は主に2つです。

1つ目は研究の継続です。

2つ目の理由はスキルの向上です。以上のことが、私が大学院に進学する目的であり今後の目標です。

残りの学生生活も、奨学生の名に恥じぬよう、気を緩めることなく今まで以上に有意義な時間に行きたいです。

6) 建設学科3年 YOON GITAEK(윤 기택)

他の大学生と比べて年齢も高く、外国人の私が日本で日本人と暮らしていくためには大学での良い成績と日本語能力、日本の文化や日本社会の理解度が重要だと考えます。

私は木造を専門的に勉強するため、ものづくり大学に入学しました。そして木造関連講義の全てを受講し、設計からデザイン、構造と施工、実習もやりながら授

業に積極的に参加しています。

日本語は生活に支障ないぐらいですが、言語は一生勉強しなければならない学問なので続けて日本語の勉強をしています。

大学生の中で学習も重要であります、一番重要なことは社会経験だと考えます。小さな社会と言われる大学はいろんな人々とのコミュニケーション、他人との協力や資料の提出、多様な申し込みと手続きなど社会性が身につけると考えます。

今回奨学金がもらえ、日本での生活のためにバイトなどで時間を使わずに自分が決めた目標に向かって進めたと考えます。ありがとうございます。

謝 辞



ものづくり大学 赤松明学長



点 鐘